



すぎ七

杉並区立杉並第七小学校

校長 齋藤 瑞穂

TEL 3392-6328

FAX 3393-7536

令和2年 2月 3日 No. 508

令和元年度教育調査について

副校長 菅野 至

昨年11月に実施いたしました教育調査について御報告いたします。(差し込み資料参照)。今回の回収率は、昨年の68.2%を大きく上回り87.7%となりました。多くの保護者の皆様に御回答いただきまして、ありがとうございました。

肯定率をもとに、主な成果と課題について御報告いたします。

成 果

【児童(5年生、6年生)の回答より】

- 項目1 学級経営 75.2% (前年比7.1%)
- 項目3 学習成果の実感 71.8% (前年比6.2%)

【保護者の回答より】

- 項目1 学校生活全般 81.5% (前年比4.2%)
- 項目5 学習成果の実感 87.6% (前年比2.4%)

左の項目の肯定率は、児童の回答で7割以上、保護者の回答で8割以上となりました。学校生活や学習の習熟において児童、保護者の意識が高い割合で一致していることがわかりました。今後もより多くの児童が充実した学校生活を送ることができるように、一人一人に丁寧に対応し、日々の授業改善に努めて参ります。

課 題

【児童(5年生、6年生)の回答より】

- 項目2 個に応じた指導 44.4% (前年比+13.4%)

教員や支援員との情報交換を密に行い、児童一人一人の実態を把握するべく日々、努めて参りました。前年と比べると、13.4%の伸びが見られましたが、まだまだ低い割合となっています。特に、高学年では、それまでの学習の定着の差により、二極化が進んでしまう時期です。児童の努力を認め、称賛を繰り返し、意欲を持続させる言葉掛けを意識しながら、一人一人の課題に寄り添い指導を重ねていきます。

【保護者の回答より】

- 項目2 一貫教育/異校種の協働 54.8% (前年比-2.0%)
- 項目3 学校評価 47.5% (前年比-3.6%)

ここ数年40%~50%台となっている項目です。「一貫教育」としては、杉並第六小学校、阿佐ヶ谷中学校との三校連携の取組が、杉並区内でも先駆けて行われてきた地域であり、現在も高学年が阿佐ヶ谷中学校での取組に参加する“プレスクール”を年間6回行っています。今後も三校で連携する取組を続けていきますので、活動についての情報提供を確実に行っていきたいと考えます。学校評価については、区の課題調査、国や都の学力調査、体力調査等の結果をわかりやすく伝え、改善策の検討を重ねていきます。

- 項目7 教材教具(ICT) 62.1% (前年比+8.8%)
- 項目10 特別支援教育 研修・理解啓発 44.6% (前年比+8.8%)

この2つの項目は、現在の重点的な教育課題として挙げられているものであり、さらに一層の努力が必要です。今年度、校内での研修を増やし、前年と比べると両項目とも8.8ポイント上回る結果となりましたが、来年度は、より教育委員会や関係諸機関との連携をとりながら進めています。

- 項目15 いじめ防止対策 31.5%
- 項目16 教育相談体制 45.5%

学校独自の調査として今年度より始めた項目です。内訳のグラフを見ると、両項目とも中間的(どちらともいえない、わからない)な回答の割合が多くなっています。スクールカウンセラーとの連携、いじめアンケート等で実態を把握し、杉並第七小学校「いじめ防止基本方針」に則して、今後も迅速に対応を行っていきます。

先日の、土曜授業公開には多くの保護者、地域の皆様に御参観いただきましてありがとうございました。特に、1年生の昔遊び、4年生の筝の体験授業、全校児童対象の情報モラル教室では、講師の先生や多くの地域の皆様の御協力のもと行われました。中でも、1年生の昔遊び教室には50名以上の地域の方々にコーチとして参加いただき、子供たちはとても充実した時間を過ごすことができました。本校は、地域に支えられている学校であることを、改めて強く感じた1日でした。準備に奔走してくださった支援本部の皆様をはじめとして、関わってくださった方々には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

様々な成果、課題がありますが、保護者、地域の皆様とともに、子供たちを見守り、成長につなげていきたいと考えています。今後とも御支援、御協力をよろしくお願いいたします。